

2022年10月3日

令和4年度 10月博士前期・後期課程入学式告辞

九州工業大学長 三谷康範

ご入学おめでとうございます。そして、大学院入学に至るまでのご努力に敬意を表します。九州工業大学に皆さんを迎えることができましたことは、この上ない喜びであります。教職員を代表してお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、行動制限と日本への入国制限が厳格化される中、一昨年度及び昨年度10月の入学式は已む無く中止しました。関係する皆さまの健康面・安全面を考慮したことと、入学生の大部分を占める留学生の来日が進まなかったことが要因です。幸いにも、今年度は行動制限が大幅に緩和され、留学生の来日も順調に進んでおり、無事、本日の入学式の開催に至りました。

本日入学される51名の皆さんのうち、49名、約96%は、17の国や地域からの留学生の方々です。コロナ禍で多くの制限がある中にもかかわらず、多くの国と地域からたくさんの方々には本学への関心を持っていただき、本日入学されることに、感謝したいと思います。世界各国がウィズコロナの生活様式を追求する中で、残念ながらまだ日本では元の生活様式には程遠い状態ですが、感染予防のためにできることに関する知識と知見が蓄積され、新しい生活スタイルが確立されようとしています。

ご承知のように、世界は今、多くの分断にさらされています。しかしながら、自由で開かれた環境で様々な知性と個性を持った人々の出会いと交流によってイノベーションが起こされてきたことが現在の科学技術の進展の姿だと思えます。コロナ禍や世界情勢が不穏な中にもかかわらず、今年も多くの国から入学生を迎え入れることができました。皆さんにおかれましては、これから新しい師と出会い、多くの友を得て、多様な研究者との交流が生み出され、ネットワークが広がり、皆さんの研究の厚みを飛躍的に向上させるものと確信しております。

さて、新型コロナウイルス感染症 COVID-19 は変異を繰り返し、私たちの行動が大きく制限され、ここに不穏な世界情勢も加わり様々な社会活動、経済活動が多大な影響を受けています。サプライチェーンの分断が半導体やエネルギー、食料品の流通に影響し、私たちの生活にも直結する問題が起こり、世界が複雑に連関することによって私たちの生活が成り立っていることを思い知らされています。ほんの半年前には予想もしなかった出来事が次々に起こる現実を目の当たりにして、予測不可能な世界を生き抜く力の大切さが一層クローズアップされています。未来は、不安定性、不確実性を増しています。このような中において、皆さんは新たな一步を踏み出しました。この機会に、改めて、学びの意味と価値について皆さんと考えたいと思います。

これから皆さんが過ごす大学院での学びの最大の成果は、ここで学業を修めた者が生き生きと活動し続けるために必要な能力を身につけることです。その源は、好奇心と探求心と継続力です。好奇心と探究心があれば、ポジティブに学びに接することができ、新たな知識やスキルを身に付け、継続力によって成長し続けることができます。また、多くの経験に基づいて様々な変化に対応する力を身に付ければ、身に付けた能力を最大限に活かして、新しい経験に基づく能力の成長をもたらすことができます。科学技術の進歩が著しい今日、学ぶべきことは増え続けます。これからの学びの中で、自分の好奇心と探求心を大切にし、それらを持ち続け育ててください。

最後となりましたが、しばらくは、まだ、新型コロナウイルス感染症の影響や生活上の制限を受けて、不自由を感じることもあるかもしれません。そのような状況においても、健康に十分留意され、知的好奇心を持ち続け、様々な学習機会と環境を活用し、意義ある大学院生活を過ごされ、本学を選択したことが最良の結果をもたらすことを重ねて祈念いたしまして、告辞といたします。本日は誠にありがとうございます。